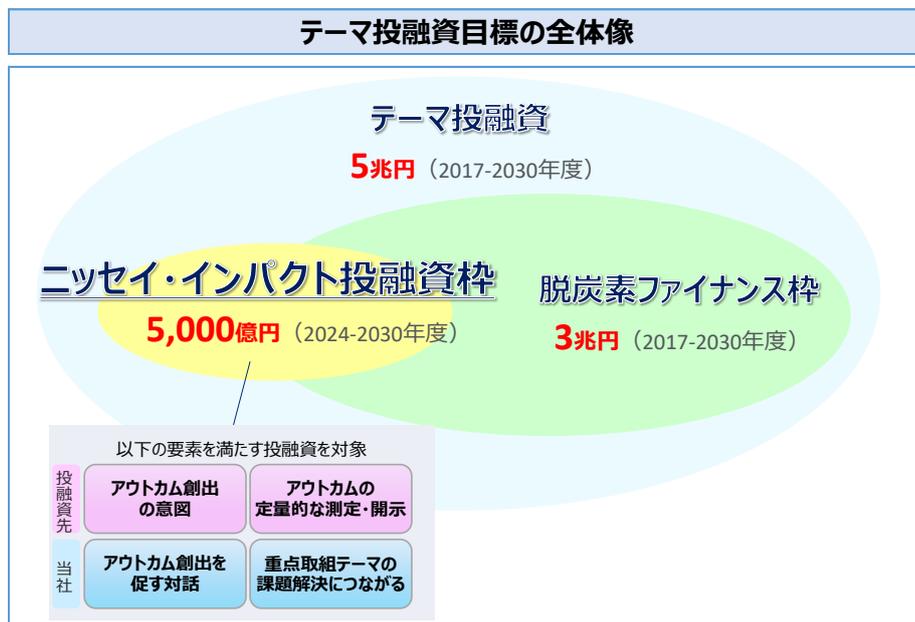


ニッセイ・インパクト投融資枠の設定について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、より能動的なサステナビリティ・アウトカム^{※1}（以下、「アウトカム」）創出を追求する観点から、テーマ投融資^{※2}の内枠となる新たな投融資目標として、ニッセイ・インパクト投融資枠（2024-2030年度：5,000億円）を設定しました。



ニッセイ・インパクト投融資枠では、収益性に加え、当社資産運用における6つのサステナビリティ重点取組テーマ^{※3}の課題解決につながるアウトカム創出が見込める案件に対して、資金提供を行います。また、投資先との対話を通じてアウトカム創出状況の確認や先進事例・国内外のイニシアティブ動向の共有を実施することで、企業と持続可能な社会を共創するとともに、インパクト投融資の裾野拡大に貢献します。

当社はこれまで、テーマ投融資5兆円（2017-2030年度）および脱炭素ファイナンス枠3兆円（2017-2030年度）の目標を掲げ、グリーンボンドをはじめとしたサステナブルファイナンスを推進してまいりました。次年度から始まる「中期経営計画 2024-2026」においても、『経済的保障とともに安心して暮らせる未来』を実現すべく、アウトカム創出を志向する責任投融資を推進してまいります。

※1：「サステナビリティ・アウトカム」とは、環境や社会に対するポジティブな影響の創出、あるいはネガティブな影響の低減を示す成果を指します。一方で、「インパクト」とは、アウトカムの蓄積によって目指す最終的な社会的波及効果（目的）のことを指します。

※2：テーマ投融資および脱炭素ファイナンス枠については下記 URL をご参照ください。

2023年3月6日プレスリリース

「ESG テーマ投融資および脱炭素ファイナンス枠における 2030 年目標の設定について」

<https://www.nissay.co.jp/news/2022/pdf/20230306b.pdf>

※3：今般、日本生命グループのサステナビリティ経営における重点領域である「人」「地域社会」「地球環境」の視点を踏まえ、6つの資産運用部門におけるサステナビリティ重点取組テーマを設定しました。今後は、当該テーマの解決に向けて、投融資と対話を軸に取り組みを推進してまいります。



以上

2023-4288G, 広報部